

あやがわ



議会だより



綾上小学校入学式(H19. 4. 10)

2007

NO. 4

平成19年4月20日

定例会のあらまし	2~3
一般質問に7人が登壇	4~7
委員会報告	8~11
編集後記	12

建設に着手

19年度一般会計当初予算

83億1000万円(前年度比0.4%増)

平成19年第1回定例会は、3月2日から3月16日を会期として開会しました。本会議初日は、町長から平成19年度施政方針、議案の提案理由の説明があり、2日目は、7人の議員による一般質問のあと、提案された各議案を関係常任委員会へ付託し、散会しました。そして最終日の16日は、平成19年度一般会計・特別会計予算案、綾川町第1次総合振興計画など42件、綾川町議会会議規則の一部改正など発議案3件をいずれも原案どおり可決。また「綾川町第1次5カ年計画」「綾川町行政改革大綱」が承認されました。今議会の傍聴は、延べ3人でした。

財政調整基金より5億9362万円

歳入面は、主に町税29億9577万円、地方交付税23億円、財政調整基金からの繰入金5億9362万1000円などです。

一方、歳出面では、民生費26億6402万3000円、教育費10億2986万8000円、農林水産業費8億9097万2000円、土木費7億8457万1000円などが主なものです。新規事業の主なものは、陶病院隣接地に介護老人保健施設の建設に着手し

て保健・福祉・医療の拠点となるよう機能の充実を図ります。また老朽化が著しく、要望の強い「綾川斎苑」は改築計画を継続し、用地選定および基本設計に入る予定です。そのほか、羽床小学校校舎の大規模改造とあわせて耐震補強工事を実施します。

広域的ネットワークを形成する基盤として、幹線的な道路網(仮称、町道西浦線)の整備なども計画しています。

工事請負契約締結の変更

①平成18年発生林道災害復旧事業塩江琴南線

既契約金額 8505万円

②綾南第3処理分区菅原14工区下水管布設工事

既契約金額 1億3282万5000円

▼変更契約金額 1億700万8650円

▼契約相手 影山建設(株)

▼変更契約金額 1億3781万9850円

▼契約相手 戸田建設(株)

一般会計

歳入		83億1000万円	
項目	予算額		構成比%
町税	29億9577万円		36.1%
地方交付税	23億円		27.7%
県支出金	7億5874万円		9.1%
繰入金	5億9362万円		7.1%
国庫支出金	3億3545万円		4.0%
使用料及び手数料	3億2231万円		3.9%
その他	10億0411万円		12.1%
歳出		83億1000万円	
項目	予算額		構成比%
民生費	26億6402万円		32.1%
教育費	10億2987万円		12.4%
総務費	9億5160万円		11.5%
農林水産業費	8億9097万円		10.7%
土木費	7億8457万円		9.4%
衛生費	6億7848万円		8.2%
公債費	5億7008万円		6.9%
その他	7億4041万円		8.9%

(四捨五入)

介護老人保健施設の

特別会計

◎町営バス運送事業

3731万7000円
 歳出は、運送事業費。
 歳入は、運賃収入384万1000円、県補助金151万7000円、一般会計繰入金3195万7000円。

◎国民健康保険

26億2858万円
 歳出は保険給付費17億2995万円、老人保健拠出金4億1581万円、介護納付金1億3390万円、保健事業費7018万7000円。

◎国民健康保険診療所

1億8549万3000円
 歳出の主なものは診療所の管理運営にかかる総務費で1億287万2000円。

◎老人保健

35億6533万円
 歳出の主なものは医療諸費で35億6208万4000円。

◎介護保険
 22億3565万6000円

◎火葬事業

5967万7000円

◎墓園事業

1055万3000円

◎農業集落排水

1019万8000円

◎下水道事業

7億6252万5000円

◎育英事業

982万6000円

◎国民健康保険陶病院

14億2812万5000円

収入

14億2015万7000円

◎水道事業

5億8858万9000円

収入

6億3915万4000円

18年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ11億5858万9000円を
 増額補正し、補正前の予
 算と合わせると、96億9
 802万4000円とな
 りました。

特別会計

国民健康保険

9499万1000円の
 増額

国民健康保険診療所

2267万6000円の
 増額

老人保健

2億635万6000円
 の減額

介護保険

6158万7000円の
 増額

火葬事業

1億5995万2000
 円の増額

墓園事業

1311万6000円の
 増額

下水道事業

1194万8000円の
 減額

育英事業

70万2000円の増額

国民健康保険陶病院

収入
 7780万円の増額

国民健康保険診療所

支出
 2987万5000円の
 減額

教育委員会委員の任
 命同意 (新任)



岡 学 氏 (50才)
 綾川町山田上甲255番地

人権擁護委員の推薦
 に同意 (再任)



小原 清志 氏 (67才)
 綾川町粉所東1-96番地11

議会選挙により、香
 川県後期高齢者医療
 広域連合議員が決ま
 りました。



宮本 勝利 氏 (64才)
 綾川町陶6043番地2



とかめ墓園

いっばん質問

大谷 照美 議員

Q 談合防止策は

A 入札を公正に執行

は何ら検討が進められていない。チェック機関を設けて議会側としても大いに議論すべきであると考えます。

答 綾川町発注の、建設工事の請負および施行の契約に関しては、「建設工事は何ら検討が進められていない。本町としても国の決定に沿うべく一般競争入札への対応ができるように準備を進めている。また、価格だけでなく技術力も評価する総合評価方式、電子入札等のことも考えている。いずれにしても、今後とも疑念をもたれることのないように、入札を公正に執行し、透明性の向上を進めていく。

問 最近、中央政権をはじめ、全国市町村に至るまで、従来の指名競争入札を、談合防止のために、一般競争入札に変えてきているようである。国・県においてもそのような指導を強めている。すでに全国市町村においても、相当数の市町村で、このことを実施しており、国においても施行令の改訂を行う予定で準備をしている。我が綾川町においては、様々な行政改革の準備を進めているようだが、談合防止策について



電子入札

田辺 健次 議員

Q 農業災害復旧は

A 町単制度と地域での共同作業で

問 農業生産の基盤である農地は、平成16年には思わぬ台風災害があり、災害復旧した所が224カ所、復旧できない補助対象以外の農地・水路等については、2年を経過しても、いまだに改修工事ができず、住民は困惑している。今後、地球温暖化によって環境・生態系の変化で降水量は多いと推測される。復旧できず放置している状況、つ

まり、二次災害の危険性が高く、多額の費用が必要となる事が明白であり、行政で災害復旧個所の見直しが出来ないものか検討を。

答 国の補助制度に採択されない農業施設では、30万円以上の工事の場合、費用の半額補助ができる町単独補助制度があるが、農家の皆様の申請に基づき復旧するものである。災害の未然防止のために



救済制度のない小災害

山亀 英信 議員

Q

5 力年計画は

診療所は継続する

A

問 山口市へ研修に行き、市内の2施設について見学した。管理者の入館者への応対、地元住民より資料提出の研究・児童との対話・綾上地区と人口

関として大きな役割を果たしているが、少子高齢化や厳しい財政状況のも

と、3診療所のより効率的な運営が求められている。

粉所診療所については、住民の皆様には不便をかけることなく、現在の診療体制を維持しながら、事務処理を綾上診療所で一括処理する。毎週火曜日の診療や往診体制が変わることではない。

村瀬 秀則 議員

Q

感染症対策は

感染防止対策委員会を設置

A

問 現在、世界的に多数のウイルスを発端とする感染症が蔓延しており、平成15年改正感染症法に基づいての動向・施設調査。感染予防対策が急務である。

関からの情報収集、災害時には迅速なライフラインの確保・周辺医療機関との連携、有事には国・県よりの要請に基づいた

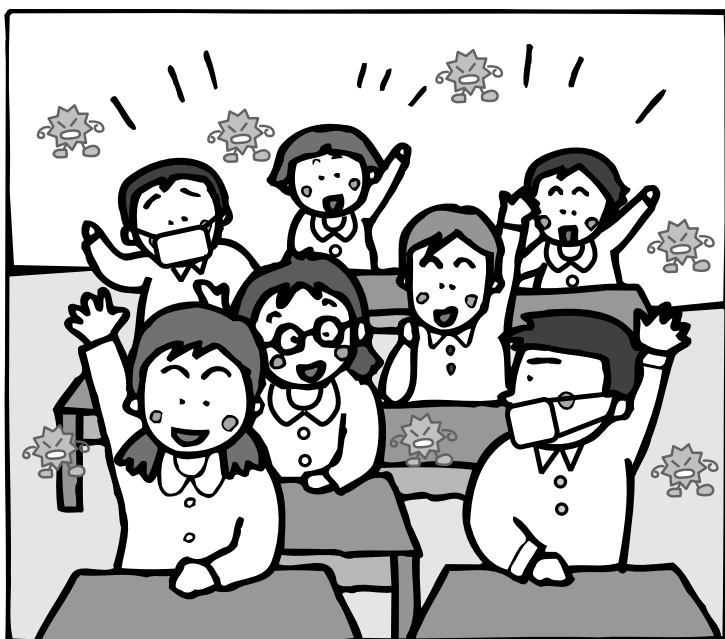
対応を行う。陶病院において病院長を委員長とした院内感染防止対策委員会を設置し、対応する。

綾川町第1次5力年計画が提案され、住民に近くてはならない診療所の見直しが入っている。地域住民に納得のいく回答をききたい。



粉所巡回診療所

新興・再興感染症が猛威を振るうなか、新型インフルエンザ(H5N1)などは非常に進化・伝播速度が早く驚異的で、通常時・災害時・有事などにおいての対応策および、医療・介護施設においての医療福祉環境アドバイザー・医療環境管理士配置の考えは。



安藤 利光 議員

Q 大型店の出店、町の対応は

A 必要なら条例化を検討

問 現在、町内で計画の大型店の状況はどうか。

答 昨年国会では法律の見直しがあった。それは、大型店の出店により中心市街地の商店街がさびれる事態が全国で起きたため、出店の際は、周辺の生活環境の保全を求めるために作られた。町はどう考えているか。

答 現在、コーナン商事(株)は開発行為の許可を受けている。イオン(株)は、県に事前協議書を出し、協議中であり、法律による開発許可を受けないと造成工事に着手できない状態である。町は、都市計画区域の形成を図るため、イオン(株)に対し必要が生じれば条例化も考えたい。

Q 放送技術の向上を

A 更に分かりやすい放送に努める

問 広報無線放送は、改善はされてきているが、町民の間からは今も苦情

が多い。もう少し分かりやすい放送の仕方を。また、火災時についても、サイレンが長く続くなど改善が必要では。

答 広報無線は定時と臨時放送があり、それぞれの放送に応じた内容、放送地区など更に分かりやすい放送に努める。サイレンの長さは、団員や町民に正確に知らせることで設定している。今後迅速に対応したい。



この春オープン予定のイオン高松店（香西）

笹川 定義 議員

Q 綾上支所の有効使用は

A 支所機能を保ち行政の拠点として利用

問 合併後、空き室が多

くなった綾上支所は、耐震構造であり築後17年で、まだまだ堅固な建物であり、安全性も高く、立地条件も良い。その利便性を生かし、町としておおいに活用すべきでは。

答 支所としての位置づけは、当初から課題であり、協議をかさね、現在行政の一端として、行政を担う、少年育成センターや土地改良区の事務所が配置され、業務活動を行っ

ている。好条件を最大限に生かして、総合振興計画のなかで、行政の拠点として支所機能を低下させず、地域住民の活性化につながる活用をする。

Q 中山間地域総合農地防災事業の採択は

A 特例的な採択要望を行っている

問 合併後の中山間地域農地防災事業の採択につ

いての事務作業の結果は。答 旧綾上町(54・1%)では採択要件をクリアしていたが、合併により対象外(36・7%)となったが、当事業への要望も強く農地防災上、整備が急がれるため、国へ特例的な採択要望を行っている。



支所の有効活用は

中西 一幸 議員

Q 不審者対策に町営バスを

A ボランティア組織の立ち上げをお願いしている（教育長）

問 最近、マスコミ等で不審者情報が報道され、町内でも小学生が不審者に声をかけられる事案が発生している。4月から入学される子どもを持つ家庭ではなおさら気になると思う。不審者対策として、登下校時に、綾上小学校は、地域が広いので、スクールバスを利用しているが、旧綾南町の



町 営 バ ス

各小学校はバスがない。地域の宝である子供たちを不審者から守るために町営バスで登下校できないか。

として、町営バスを利用できないかとのことであるが、町営バスはコース、乗車人員に限りがあり、大勢の乗車は難しい状況である。各校区単位でも安全確保ボランティア組織の立ち上げをお願いし、町民挙げての「子ども安全みまもり隊」への参加をお願いしている。

ほかにもこんな質問がありました

県内の雇用状況は

下させないように努める。

Q 雇用破壊と規制緩和により、正規雇用が減り、非正規雇用が増えている。町内の状況は。

Q 全国一斉学力テストは

A 企業統計調査報告によれば、雇業者総数6658名のうち、臨時雇用を含む非正規雇用者は2619名で3割になっている。

Q 全国一斉学力テストが4月に行われる。過去に「学校の序列化をまねく」と批判が出て、とりやめたことがあるが。

A 自らの教育および教育施策の成果と課題を把握し、改善するために小学校6年生と中学校3年生を対象に実施する。町は調査により測定できる学力は、特定の一部分で、公表により過度な競争をおおることになりかねない理由から公表しない。

町の「行政改革」は

農地・水・環境保全対策

Q 地方行革の名で行われているのは住民サービスの切下げや、民間委託、住民負担増である。本来の行政改革とは異なっている。町の対応はどうか。

Q 農地・水・環境保全向上対策の取り組みは。

A 住民福祉を後退させないよう、最大限留意する。行政改革は厳しい財政環境の中で住民サービスの低下させないよう行つものである。支所は縮小するが、利便性を低

A 19年度は対象農地面積の51.8%が取り組む予定、町として積極的に推進し、支援を行う。



少人数によるグループ学習風景（町内小学校）

寄付金の報告

滝宮小学校図書購入費に

○一金 25万円也
綾川町滝宮201番地1
竹下 和男 様

○一金 20万円也
竹下 和男 様

綾川町財政運営資金に

○金一封
綾川町山田下
匿名

委員会報告

総務委員会

3/7・3/8

18年度一般会計補正予算

7億円を積立て 学校施設整備基金に

3月定例会本会議にて付託された、平成19年度綾川町一般会計（総務常任委員会関係分）予算、同町営バス事業特別会計



19年度に耐震工事を行う羽床小学校

18年度補正予算は、11億5859万円を増額。この内、7億円を学校施設整備基金に積み立てるものです。

既に耐震工事を終えた昭和小学校、合併前に耐震構造建物として開校した綾上小学校を除き、19年度以降、羽床・陶・滝宮の各小学校の耐震工事、および綾上・綾南、両中学校の改築工事を予定していることから、今回、多額の基金積み立てを行うものです。

同基金の18年度末積立て予定額は、7億3100万円となります。

問 財政破綻した自治体が報道されている。地方債残高は、どのぐらいが適当と考えているか。

答 普通会計では、5カ年計画の中で平成19年度以降、平成23年度までの未償還残高が、概ね52億から55億程度で推移する見込み。この程度ならば財政の健全性は保てるものと考えている。

19年度
一般会計予算

町H・Pの携帯配信は

綾川町のホームページ

について携帯電話に配信する考えは。

答 現在その予定はないが、調査の上、今後の検討課題としたい。

広報戸別発行見直し

問 広報紙などの戸別発送費250万円余について改善できないか。

答 自治会未加入者への広報郵送には賛否両論あるが、自治会加入促進を図る一方、町内全戸配布も視野に入れ検討したい。

研修生の帰国後調査

問 中国研修生の帰国後の研修成果について調査しているか。

答 これまで調査はしていないが、今後可能な範囲内で調査を行う。

問 コピー用紙サイズはA版に統一すべきでは。

答 サイズ統一に向け努力はするが、国県など、



固定資産税基準宅地付近(旧綾南町)

書類の提出先によりサイズを限定される場合もありA版以外の用紙をなくすることは難しい。

固定資産税に関する基準値と評価額は

問 基準地の位置と土地評価の算出基礎は。

答 基準地は以前の滝宮地区県道高松綾南線沿いの宅地から、現在陶地区国道32号線沿いの宅地に変更している。また、宅地の評価は標準宅地等の評価額に補正係数をかけて算出している。

消防団備品の充実と災害時の食糧備蓄は

問 消防団に現在配備しているボートは洪水等災害時の使用は危険ではな

いか。エンジン付きのゴムボートを配備してはどうか。また、災害時の食糧備蓄の状況、消防団にカッター、チェーンソーを配備してはどうか。

答 エンジン付きゴムボートについては小型船舶免許が必要なおもあり、消防団と協議したい。また現在のFRPボートは冠水した道路等での使用を想定しており、河川内の使用は想定していない。また、備蓄食料についてはアルファ米、乾パン等約1600食、飲料水は15リットル容器280本を備えている。カッターやチェーンソーの配備については今後消防団とも

協議の上、対応を検討したい。

各種団体補助5%減

問 各団体に対する補助金を5%削減することの理解は得られているか。

答 今回の予算額の範囲内で各団体に理解していただきたい。

「コンピュータ教育」よりも体験教育を

問 コンピュータ教育は子どもたちの人間形成に悪影響がないか。それを防ぐために本町出身の著名人を招いたり、廃校小学校を活用して体験学習などをさせてはどうか。



小学校のコンピュータルーム

答 コンピュータ教育については指導する範囲を限定するよう現場指導している。廃校舎については既にNPO法人などとの貸借契約により活用されており、他の方法で検討したい。

問 交通安全特別交付金の額は適切か。

答 交付額は、交通事故の発生件数や人口集中地区の割合等により算出され、その配分に恣意的要素はないものと承知しているが、なお県等に確認する。

スクールバスの法定点検は

問 綾上小学校送迎バスの整備管理者及び法定検査はどのように。

答 整備管理者については教育委員会職員がなっており、法定検査については実施しているが、今後予算の説明に加える。

問 介護保険施設整備基金および地域福祉基金の全額を繰り出すか。

答 取り崩しにより19年度末現在の残高は0円になるが、基金そのものは無くならない。将来、もし必要がなくなれば廃止条例を提案させていただきたい。

バス会計予算

問 委託業者の一元化のスケジュールは。

答 19年度中のなるべく早い時期に統合したい。

育英会計予算

問 育英基金の現在高は。

答 平成18年度末現在で5858万4000円となる見込みである。

建設経済委員会

3/9

水道会計の安定化対策は

問 料金収入の伸び悩みなか、赤字予算が計上された。起債残高が約25億5000万円になっている状況で、今後、水道会計の安定化ができるのか。

答 18年度末で起債残高が、給水収益の約5倍となるので今後起債はできないと考えている。

19年度以降、今後約10年間の事業の見直しなど検討を行い、適正な料金に改定して水道会計の安定化を考えたい。

問 石綿管の配管延長と水道ビジョン作成の内容は。

答 石綿管の配管延長は4.6km。水道ビジョンは、厚生労働省の通達により作成するもので、内容は今後の水道の将来像とそれを実現するための具体的な施策を取りまとめるものである。

商工会議所の移転補助は

問 商工会の合併にともなう移転にかかる補助について

答 現事務所の撤去にともなう国庫補助返還金に

については補助し、維持管理にかかる経費等は、使用者で負担する。

問 町道富川後久線で通学路として改良に併せて歩道の設置が本年度の計画に盛り込めないか。

答 用地関係者や前後の計画内容を検討して進めていきたい。



綾南浄水場

永久農地

問 農地の基盤整備事業実施後における転用規制について

答 説明会等で規制について十分説明を行う。

問 柏原溪谷キャンプ場内の借地を買い上げては。

答 土地買い上げは経費が多めで、借り上げで対応したい。

問 林道塩江・琴南線の舗装工事はあと何年かかるか。

答 林道上柏原線から林道龍頭谷線までの区間は19・20年度で完了予定。

問 イノシシ対策は。

答 駆除対策事業として電気柵・のり網の設置に対して2分の1の補助をし、補助の対象は町民に限る。

問 柿栽培の農家が高齢化している、レクリエーション農園として活用できないか。

答 JAと協議しながら検討したい。

厚生委員会

3/13

介護老人保健施設費に 5億円を計上

平成19年度と20年度の2年かけて建設する、介護老人保健施設事業の予算5億44万円が計上されました。

同施設は、近隣の老人福祉施設に、町内の方が

170名待機している状況もあり、国が療養病床の削減も示しており、その受入れの施設が必要のため行うものです。

問 施設の整備計画案は個室ユニットと多床



老人保健施設建設予定地

室で60床。通所リハビリテーションに20名を予定している。建物は陶病院西側に、鉄筋コンクリートづくり3階建てを考えている。

建築面積は4500㎡

問 事業内容は

答 建築面積は、4500㎡を予定している。

19年度は、設計管理料として2450万円、介護老人保健施設建築工事4億7550万円を予定し、20年度完成を目指す。総事業費は約9億円と想っている。

経営面で心配をする

問 町には38億円の基金が、5年後14億円で減少する。財政や経営面はどう考えるのか心配である。

答 低所得者、へき地の医療サービスの提供を考えると、民間より、公的機関が運営する必要がある。運営は安定的に行うことは当然と思っている。

部屋割りに配慮を

問 昨年10月以後、居住費などの自己負担により、入所者が減っている。町

の10年間の経営指標では3年目から、赤字の試算となっているが。

答 整備計画では、医師など38名の職員を予定している。

先進地でも、部屋割りに配慮し、収入を上げており検討したい。

供用開始は平成20年

問 新たな火葬場建設にむけての計画は

答 19年度は火葬場建設の設計料として2700万円、西側の山の用地購入費300万円を計上し、現在進めている。

火葬炉から出る黒煙やレンガタイルの脱落など、老朽化による痛みが激しく、周辺の環境や人間の尊厳のことを考えれば、今の建物使用には無理があり、施設改修が急がれ



火葬場

る。そのため、建設工事、供用開始も平成20年度の予定である。

2年で5億円を計上

問 火葬場建設の事業内容

答 19年と20年で5億円の事業計画を進めていく。そのうち、2億5000万円は地方債を予定し、大型火葬炉3基、収骨室待合室、祭壇の倉庫などを改築する予定である。

杣所巡回診療所に

4月より、町内3ヶ所設置の診療所のうち、杣所診療所を、杣所巡回診療所に名称を変えることになりました。

その理由は、綾上診療所でカルテなどの一括管理を行い、より効率的な運営をするためです。

時期早尚では

問 杣所診療所を、合併後すくなくするのは早い。へき地の現状を把握していないのでは。

答 5年前に比べ、患者数は減少しているものの、毎週火曜日の診療日の患者数は50名ほど続いている。へき地の現状は知っている。

診療体制は変わらず

問 地元から廃止反対の陳情があったと聞くが。

答 昭和24年にへき地診療所として開業した杣所診療所は地区として大切である。診療体制は現在と変わらず、不便はかけないようにする。

今後、十分周知をしていくとともに陶病院・綾

上診療所を中心に一体的な歩み出しをしていく必要があると考えている。

保育所整備費に

4300万円

問 保育所整備費が計上されているがどうか。

答 緊急を要する改修工事で滝宮・羽床上保育所等改修工事、陶保育所調理場外部設置工事である。

また、平成20年度より滝宮保育所の旧遊戯室で、一時保育を行うために、整備工事を計上している。利用度も把握して対応していきたい。

児童手当給付対象者は

問 制度改正により、児童手当の給付対象者は。

答 制度改正により、小学3年終了前から小学校終了前に拡充され、対象者は2284名である。

ひぐらし荘の管理運営は

問 総合老人ホーム「ひぐらし荘」の管理運営に

問題があり、新聞でも報道されたが、どのように行っているのか。



羽床上保育所

答 高松市が包括外部監査を行った結果、入居者の預かり金管理や物品管理に不備があり、指摘された。預かり金管理は成年後見人制度等もあり、このような制度も利用できるが、町として適切に行うよう、高松市に申し入れしていく。

自動体外式除細動器とは

問 生活習慣病の予防のために血圧計は公共施設に置く。自動体外式除細動器は「えがお」と「いきいきセンター」などに設置すると聞くが、自動体外式除細動器とは何か。

答 自動体外式除細動器とは、心臓の震えを止める器械で、誰でも使用できる。突然死といって突然に命を落としてしまう恐ろしい状態が色々な原因で起こる。脳をはじめとする全身に血液が流れていない状態を心肺停止と呼び、そのまま数分経

ては救命は難しくなる。除細動は、心臓の細かい動きを取り除くという意味で、心臓が震えだしてすぐに除細動を行えば、高い確率で救命することができる。



自動体外式除細動器 (AED)

政務調査費とは？

政務調査費は、議員の調査研究における必要な経費の一部として、「綾川町議会政務調査費の交付に関する条例」に基づき交付されています。交付の対象や方法などは次のとおりとなっています。

- ・ 交付の対象 綾川町議会議員の職にあるもの
- ・ 交付する額 1人につき、月額6,000円
18年度は、年額66,000円（11か月分）
- ・ 交付の方法 半期交付
- ・ 使途基準 別表のとおり
- ・ 収支報告書 翌年度の4月10日までに領収書および報告書を提出。

項目	内容
調査研究費	議員が行う町の事務及び地方行財政に関する調査研究及び調査委託に要する経費（調査委託費、交通費、宿泊費等）
研修費	団体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に要する経費（会費、交通費、宿泊費等）
会議費	議員が行う町政に関する住民の要望、意見を聴取するための各種会議に要する経費（会場費、機材借上げ費、交通費、資料印刷費等）
資料作成費	議員が議会審議に必要な資料を作成するために要する経費（印刷・製本代、原稿料等）
資料購入費	議員が行う調査研究のために必要な図書、資料等の購入に要する経費（書籍購入代、新聞雑誌購読料等）
広報費	議員が行う議会活動及び町政に関する政策等の広報活動に要する経費（広報誌・報告書等印刷費、送料、交通費等）
事務費	議員が行う調査研究に係る事務遂行に必要な経費（事務用品・備品購入費、通信費等）

議会だより第3号に関するお詫びと訂正

議会だより第3号3ページ1段目、一般会計補正予算の文章中に一部誤りがありました。謹んでお詫びさせていただきます。ともに、次のとおり訂正をさせていただきます。よろしくご理解の程、お願い致します。

（誤）
補正前の予算と合わせると、**855億3943万5000円**

（正）
補正前の予算と合わせると、**85億3943万5000円**

編集後記

桜も終わり、新緑が目に見える今日の頃です。綾川町が誕生して2年目となります。

平成19年度一般会計当初予算が83億円余りに決まりました。

今後とも、ご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

定例会には、町民皆さんが傍聴されて町政を監視していただきたいと思っております。

議会広報編集委員会

委員長 中西 一幸
副委員長 松浦 正昭
委員 山亀 英信
委員 長尾 進
委員 石井 和義
委員 安藤 利光

